

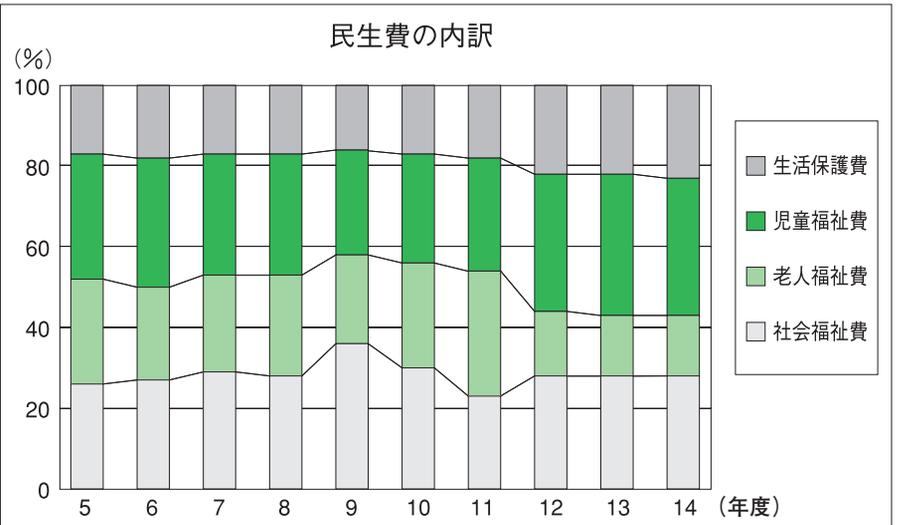
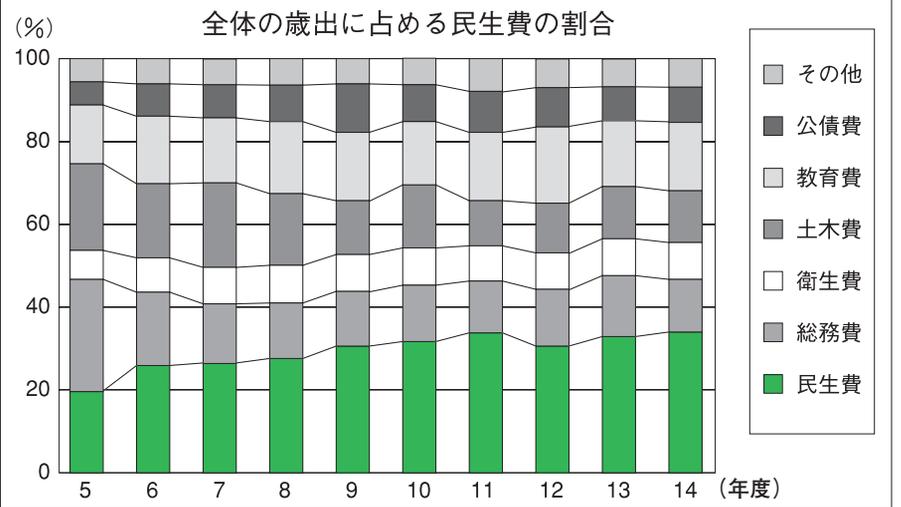
課題3

加速する 民生費の増加



少子高齢化は市の財政にも大きな影響を与えています。右図の「民生費の内訳」をみても、保育環境の整備や児童手当など、少子化対策を中心とした児童福祉費が大きく増え続けています。また、老人福祉費については、平成12年度からその大部分が別会計の介護保険事業へ移行していますが、そこへの一般会計からの持ち出しも毎年増え続けています。

さらに、長引く不況の影響で生活保護費がここ最近10%近い大きな伸びで増えています。市税や補助負担金など、年々減少していく収入状況の中で、このように加速度的に増え続ける民生費のあり方が、今大きな課題となっています。



課題4

老朽化が進む 市の公共施設

昭和50年代以前に建設された施設の状況(件数)

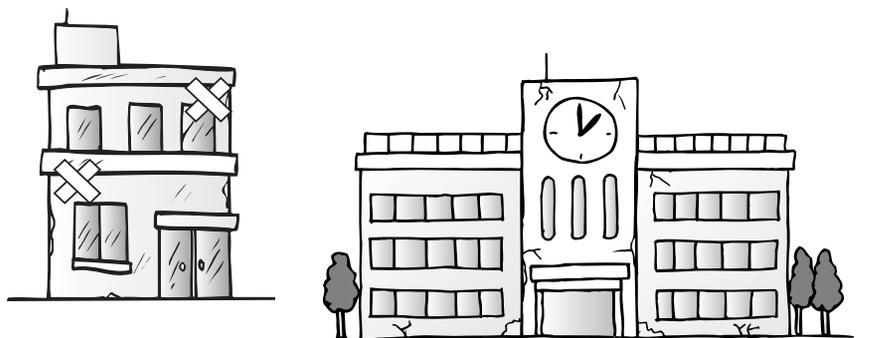
年代	小学校	中学校	保育園	公民館	ハヶ岳山荘	萩山プール	福社会館
昭和30年代	1						
昭和40年代	9	6	7	2	1	1	1
昭和50年代	6	2	2	5			
	出張所	本庁舎	武道館				
	給食センター	平櫛田中館					

市では、戦後復興に伴う人口急増をうけ、昭和30年代の中ごろから学校や保育園の建設をすすめてきました。

その後は、社会的変化に伴う市民ニーズに対応し、図書館や公民館、そして地域センターなどを整備してきました。

しかし、これらの施設も年月を重ねるごとに老朽化がすすみ、建て替えや補修の必要が生じています。

平成12年度に作成した「小平市公共施設予防保全計画」によれば、これらの対策のために、平成32年度までに約400億円が必要とされています。



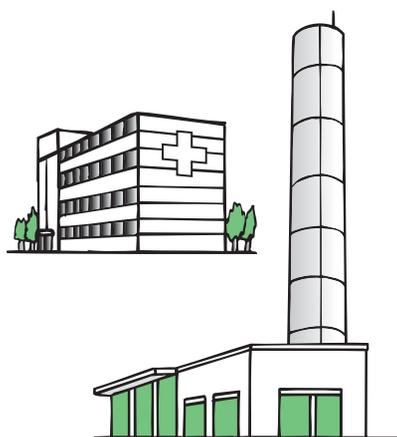
課題5

負担が増える 一部事務組合

一部事務組合とは、複数の市町村が事務の一部を共同で処理するために設けられる特別地方公共団体です。

現在、小平市は8つの一部事務組合に参加し、そのための負担金は平成15年度でおよそ20億円にものぼります。

その中でも主なものが右の3つの組合になりますが、それぞれに施設の老朽化による建て替え計画などが予定されていて、そのための今後の負担金の増加が見込まれます。



主な一部事務組合への負担金額と今後の課題

- ◎小平・村山・大和衛生組合(ごみ中間処理事業)
平成15年度の市の負担額…8億6千6百万円
今後予定される大規模事業…老朽化した施設の更新計画
- ◎昭和病院組合(病院事業)
平成15年度の市の負担額…6億2千2百万円
今後予定される大規模事業…老朽化した病棟の建て替え計画
- ◎東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合(ごみ最終処分処理事業)
平成15年度の市の負担額…3億1千2百万円
今後予定される大規模事業…エコセメント事業化計画

以上の5つの課題を背景とした厳しい財政状況を踏まえて、よりよい小平市をつかっていくために、今後どのように対応していくべきか、市民の皆さんとともに考えていきたいと思います。

問合せ 財政課 ☎042(346)9504